

教育研究所だより

回覧

平成24年11月8日 NO. 181 守山市教育研究所発行

守山市勝部三丁目9-1 (守山市生涯学習・教育支援センター 愛称: エルセンター3・4階)

TEL 583-4217 FAX 583-4237

E-mail kyoikukenkyu@city.moriyama.lg.jp

所長 森津 陽太郎

H P <http://www2.city.moriyama.lg.jp/moriyama-kyoikukenkyu/>



「笑ろてるパパがええやん！」

ファザーリング・ジャパン 滋賀

副代表 小野 元嗣

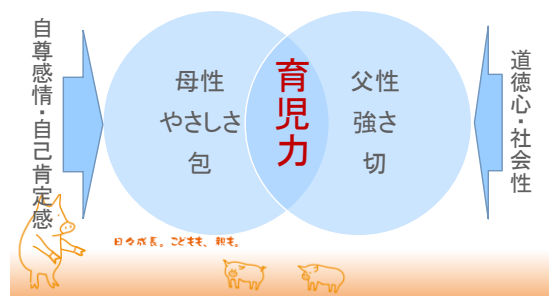
「仕事が忙しいから」「疲れているから」。そんな理由で父親(パパ)のみなさん、育児を母親に任せきりにしていませんか? 夫婦と子どもだけの核家族が多くなってきた昨今、育児には父親の関わりが大切です。

ファザーリング・ジャパン滋賀(FJ滋賀)では活動を通して、様々なパパのライフスタイル、家族のカタチ、これからの社会のあり方を提案しています。「パパが笑えば家族が笑う。地域が笑う。社会が笑う。」をモットーにパパの子育て支援を実施しています。「笑ろてるパパがええやん!」を合言葉に、個性豊かな子育て現役のパパたちが、笑っているパパを増やし、楽しい社会にするために活動しています。

滋賀県内では、慣習や風習、文化などから女性は「家事と子育て」で男性は「仕事」と言う考え方が根付いている所も少なくありません。しかし、農家も含めて共働き世帯が昔からあり家族で「子育て」や「しつけ」を分担され生活に密着していたのも事実です。

子どもの発達段階に必要な要素として「子育てに必要な力とバランス」(右図)では、母親からの、やさしさや、大きな心で包み込もうとする愛情により、子どもに自尊感情や自己肯定感が生まれ、父親からの人間としての強さや規律性により道徳心や社会性が生まれます。このような関係性のなかで、子どもが大きく育まれていくように思われます。親の役割は、子どもを自立させること、親の価値観を伝え、子どもの価値観をお互いに育ていくことが大切になってきます。

子育てに必要な力とバランス



以前は、家族や近所に先輩パパやママ、おじいさんやおばあさん達がおられ、気軽に雑談の中で「親育て」を

「父親が子どもと仲良くなる10の方法」

1. 笑顔であいさつをする
2. 朝の時間を一緒に過ごす
3. ミルク、離乳食を食べさせる
4. 子どもの好きなことをする
5. 子どものペース・ルールにあわす
6. 大好きと伝える
7. ダイナミックな遊びをする
8. 読み聞かせの絵本を作る
9. 二人だけで出かける
10. イベントなどで非日常を演出する

学べました。しかし、最近は、核家族化や生活環境の変化で難しくなっています。パパやママに「子育ては、想定外!」「子育ては、未知への挑戦!」などと題して講演会をさせていただきます。私が、4児の先輩パパとしての体験談を話すことで皆さんの「子育て」が楽しく、時には厳しく実践され、最後には皆さん自身が育つ「親育て」されていますと感謝を述べて下さいます。

「子どもの笑顔が地域を結ぶ!」を目標に、我が子と同様に地域の子ども達も「地域のみんなで守り育てる」ことが大切です。

研修講座の感想から

＜教育相談研修講座Ⅳ＞ 「発達支援を必要とする子どもの理解とかかわり」

- ・特別支援は一人ではできないという話をしていただき、少し気持ちが楽になりました。担当の子をどうにかしてあげたいという気持ちから一人で考えていましたが、違う目線からの方が見えることも多いので自分からいろんな先生に聞いてみようと思いました。
- ・子どもの人格と向き合うのだという言葉は私の心に強く響きました。また、多面的に関わっていくことが大切だと言われ本当によく理解して実践していくことが私の役割だと責任を感じました。

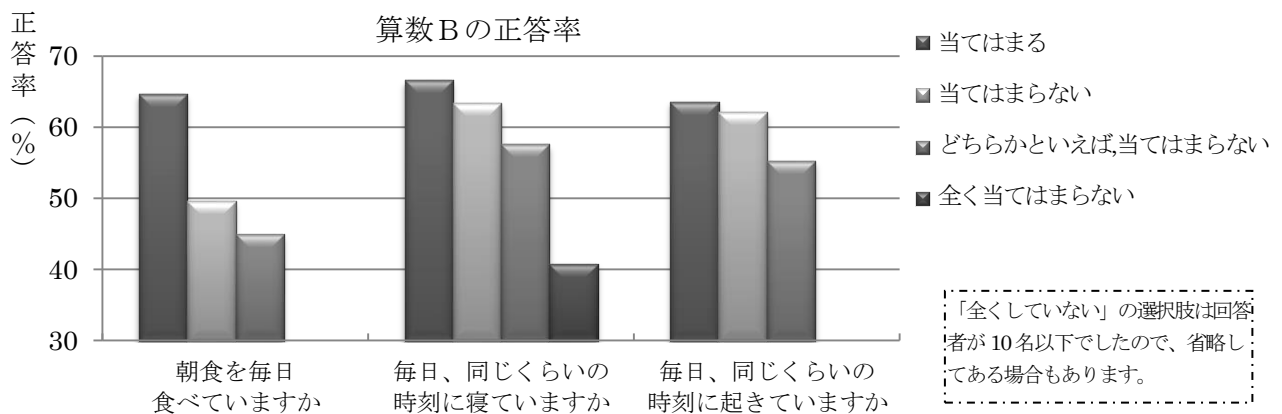
＜幼児教育研修講座Ⅱ＞ 「支援を必要とする子どもたちへの理解と対応」

- ・日々の保育でも月齢の差を感じることがありましたが、こんなにも大きな個人差があって、子どもは教師が思っている以上に困っているのかもしれないと考えることができました。その子の歩みを理解できるように、ゆっくりと見守っていくようにしたいと思います。
- ・子どもの特性を見極めたうえで、どうかかわるか本人だけでなく、周りが子どもをどうとらえ、理解しないといけないということを改めて学ぶことができました。まずは教師（大人）ができることを一歩ずつ実践していきたいと思います。

研究事業から

基本的な生活習慣が、子どもの学力を伸ばします！

平成24年度の全国学力・学習状況調査の結果から、基本的な生活習慣と子どもの学力との関係をグラフにしました。これらのグラフからは、基本的な生活習慣が確立している子どもほど、学力が高い傾向にあることが分かります。例えば、朝食を毎日食べている子どもの「算数B」（活用力を問う問題）の正答率は、朝食をあまり食べていない子どもの正答率より20%近く高いことが分かります。また、休日を含めて、毎日同じくらいの時刻に就寝・起床することも、とても大切なことがわかります。



お知らせ

守山市教育研究所では、常時相談を受け付けています。

下記の「くすのき教育相談」は速野公民館へ相談員が出向き、相談をお受けするものです。

くすのき教育相談

- ・学校に行きづらい
- ・友だち関係がきになる
- ・みんなと同じことができない
- ・いじめ
- ・子育ての悩み など

11月8日(木)10:00～15:00 教育相談
11月22日(木)10:00～11:00 ミニ講座
「子どもの自信を育てる心理学」
11:00～15:00 教育相談
12月13日(木)10:00～15:00 教育相談
12月27日(木)10:00～15:00 教育相談

＜開設場所＞

速野公民館 図書室
お申し込みは前日までに下記まで
「守山市教育研究所」
TEL77-583-4237・FAX077-583-4237
※要予約 相談、ミニ講座：無料